



旭小雑木林

みんなの笑顔が輝く学校 地域の風が行き交う学校

日野市立旭が丘小学校
学 校 だ よ り
令 和 5 年 4 月 6 日
校 長 山 口 早 苗

www.hino-tky.ed.jp/e-asahigaoka/

令和5年度の出発にあたり

校長 山 口 早 苗

木々が芽吹き、色とりどりの花が咲きほころぶ中、子供たちは期待に胸を膨らませ、元気に登校してきました。子供たちのきりりと引き締まった顔からは、よしがんばるぞという気持ちが伝わってきます。入学・進級おめでとうございます。今年度は、全校児童481名でスタートしました。

5日には、新6年生が登校し、入学式や新年度の準備を行いました。やる気に満ちた顔で、率先して仕事に取り組む姿から、旭小の最高学年としての自覚と責任を感じました。これからの一年間の活躍を期待しています。

今年度、旭が丘小学校は、コミュニティスクールとしてスタートをきります。4月より、学校運営協議会を設置し、杉本秀明同委員長、藤本容子同副委員長をはじめ、学校管理職、主幹教諭、保護者代表、地域住民の方々と構成しています。本校は、開校以来、保護者・地域の皆様と連携して、様々な取組をすすめてきました。今後さらに、学校運営協議会委員の皆様はじめ、保護者、地域の皆様と連携を深め、旭が丘小学校をよりよい学校になるよう努力して参ります。

第三次日野市学校教育基本構想は、今年度5年目になります。子供たちに自ら育んでいってほしい力を「すべてのいのちがよろこびあふれる未来をつくっていく力」としています。本校では、「よく考える子ども」「なかよくする子ども」「がんばりぬく子ども」「からだをきたえる子ども」を教育目標として、知徳体のバランスのとれた児童の育成に取り組んでいきます。そして、大人も子供も達成感のある笑顔輝く学校にしていくために、次の重点方針をかかげ、教育活動の充実を図って参ります。

○ 確かな学力の育成 国語科の研究を柱に、すべての子供が夢中になって考える授業を目指していきます。全教科・領域で「書く・話す」活動を取り入れ、自分の考えをもち、表現する力を育てていきます。考えを互いに学び合い、高め合う授業づくりをします。また、日野市研究奨励校として、「学校図書館を活用した授業の創造」にも取り組んでいきます。各種学力調査でも課題がある基礎・基本の定

着にも、朝学習や授業時間を活用して取り組んでいきます。

○ 豊かな人間性の育成として、道徳教育に力を入れ、思いやりのある心を育むと共に、人に迷惑をかけないなどの社会生活の規範を身に付けさせます。特に、今年度は、言葉遣い（礼儀）・あいさつに重点をおき、清掃（勤労）廊下歩行（ルール）にも取り組みます。また、「ひのスタンダード」をもとに、学校環境・学級環境を整え、子供たちが安心して自分の力が発揮できるよう居心地のよい学校・学級をつくります。心身共に健やかな成長のためにも、アクティブスポーツや各学期の重点取組を設定し、体力の向上の充実を図っていきます。

その他、地域教材・人材を活用し、体験的・課題解決的学習を行い、主体的に学ぶあさひタイムや一人一台の端末を有効に活用した授業の充実も図っていきます。

さて、コロナ禍前に、メールで会話する若者が増えているという話がありました。以前なら、直接、言葉を交わしていた場面でも、メールやラインでのやりとりが多くなっているそうです。このことについて「メールだけのコミュニケーションでは、人を信頼し、人のために何かしたいという気持ちが減退する。人には、オキシトシンという神経物質があり、他者への信頼感を強め、ストレスが消えて幸福感が増す作用がある。さらに、血圧の上昇を抑えて、心臓の機能を向上させ、長寿になるとの研究結果もあるそうです。オキシトシンの分泌を促すものは、スキンシップや一家団欒などの親しい語らいです。」と脳生理学者の方の話がありました。人と直接かかわることが、心と体の健やかな成長につながることがわかります。学校は、子供たちがお互いに切磋琢磨し、学び合う場です。この一年間教職員一同力を合わせて、子供たちの成長にとって実り多いものになるよう、努力してまいります。保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

[illegible]